



感染防止に取り組みつつ 次に進む

2学期が始まり8日間が過ぎました。猛暑の中ですが、子ども達は元気に伸び伸びと生活しています。夏休み明けでも欠席する子が少ないのは、休み中の生活を家庭で工夫しリフレッシュできたおかげだと思います。



朝 昇降口で手指の消毒

新型コロナウイルスの感染防止に取り組んで早くも6か月が経ちます。この間に得られた知見を活かして、次のステップに進みたいと考えます。文科省による8月上旬までの集計では「小学生の感染経路は、家庭内感染 70%、学校内感染 0%」という結果です。このことから、学校にウイルスを持ち込まないことが最も重要です。そのために、児童はもちろんですがご家族の健康観察(検温、呼吸器症状の確認等)をこれまで以上に丁寧に行うようにお願いします。

2学期始業式 校長講話「いつかではなく 今から」

8月19日

今日は、ロボット研究者の古田貴之さんに関わり「いつかやるのではなく、今から始める」というテーマでお話します。古田さんは、中学2年のある日突然具合が悪くなり、歩けなくなってしまいます。そのまま入院したのですが、次の日、同じ部屋にいた人が、ガンであっけなく亡くなってしまいます。その時に、考えたことは「人は必ず死ぬ」というです。死を身近に感じたことで、人生はプツリと途切れることを知り、考え方が大きく変わりました。

けんきゆうしゃ
ロボット研究者
ちようせん
古田貴之さんの挑戦

14才の時
難病にかかる

↓

車いすロボットを作りたい

いのち
命はあと8年 一生車いす

いつかロボットを作れるといい

↓

いつかできる…ではなく
今、全力でやりたいことを
追いかける

車いすでリハビリ室に行く

さらに「余命はあと8年、運がよくても一生車椅子の生活でしょう」と言われてしまいます。古田さんはかなり落ちこみましたが、ここで、気持ちを切り替えます。それまでは、「いつかロボットを作れるといいなあ」と思っていたのですが、あと8年しか生きられない、それなら「いつかできる…ではなく、今、全力でやりたいことを追いかけるしかない」と心に決めます。そこで、まずは車椅子でリハビリ室に行き、歩けるように訓練を始めました。

そのピンチの中で考えたのが、二足歩行型の車椅子ロボットです。人に助けてもらうのではなく、自分で操作して自由に動き回れる車椅子を作りたいという夢をもちます。その後、古田さんはリハビリを重ね、奇跡的に病気が回復します。半年後に退院し、その後も車椅子の生活が続きましたが、努力の末に杖を支えに歩くことができるようになります。

その後、古田さんは中学、高校と自分が好きなロボットの勉強を夢中になって続けます。ロボットを開発するには、コンピュータプログラムや人工知能の知識が必要と考え、独学で勉強します。さらに、自立型のロボットを作るために、大学に進み12年間かけて研究します。

そこでは人間が操作するのではなく、ロボット自身が「自分で感じ、考え動く」ロボットの開発に熱中します。夢中になると、徹夜が2週間つまり眠らずに研究しても嫌にならなかったそうです。好きなことをやっている時は、苦勞と感じないそうです。そして、ついに33歳で「モルフ2」というロボットを完成させます。今から18年前ですが、世界最先端の最も進化したロボットでした。

こうして40年間、夢中でロボットの研究を続け、開発した乗り物が「カングーロ」です。このロボットは、人間が操作したり、命令したりしなくても、自分で考えて動くロボットです。ただの電動の乗り物ではなく、ぶつからずによけてくれます。さらに、乗ったまま自動で目的地へ運んでくれます。このロボットが完成したことで、足が不自由な人も自由に動けるという古田さんの夢が叶いました。

**好きなことや
目標を見つける**

一人でも **だれもやらないこと**

チャレンジしよう

~マラソン パソコン 楽器 研究~

さて、古田さんから私たちが学びたいことです。2学期にめざすこととして「ピンチの中でも新しいことにチャレンジすること、それもいつかではなく今から始めること」です。無理かなと思っても、まずは始めてみましょう。好きなことや目標を見つけ、一人でも他人がやらないことでも、チャレンジしてみましょう。みなさんの中には、すでにマラソンやなわとび、楽器、研究等に取り組んでいる人がいます。今日は、2学期が始まった節目の日、いつかやる…のではなく、今からチャレンジしてみましょう。

上田市の感染警戒レベル3に伴い ご家庭へのお願い

8月に入り市内での感染者が急増しています。校内でも感染防止の対応を行っていますが、家庭での健康チェックが重要です。引き続き次の点でご協力をお願いいたします。

(1) 毎日の健康観察と検温を

健康観察・検温は、毎日行うようにしてください。本人および家族の方に、風邪症状や発熱があるときは、学校を休み自宅で休養するようにしましょう。また、体調が悪い時は、外出を控え人との接触を避けることが大事です。37.5℃以上の発熱が2日以上続く時や強いだるさや息苦しきがあるときは、上田保健所(0268-25-7135)に相談してください。

(2) 他県への往来時は慎重に対応を

長野県が呼びかけている「往来そのものを慎重に検討」(東京・神奈川等)の都道府県に移動することは、できるだけ避けていただくようお願いいたします。

(3) 「密閉・密集・密接」の3条件がそろわない配慮

- ・多くの人が集まるような場所への外出は控えるようにしましょう。
- ・換気の悪い密閉空間にしないために、時々窓や入口をあけるなど、部屋の換気や適切な温度、湿度に心がけましょう。



(4) マスク着用及び手洗いの励行

マスク着用や石けんによる手洗い、薬液での手指消毒を励行してください。特に食事の前やトイレの後にはこまめな手洗いに心がけましょう。

***児童及び家庭内で新型コロナウイルス感染者び濃厚接触者が認められた場合、また感染の疑いがある場合は、速やかに学校まで連絡をお願いいたします。**

西小スポーツデー（運動会）の予定

感染防止の観点から大幅に内容と時間を縮小しました。練習は体育の授業の中で行いますので、完成度よりも運動の楽しさをめざします。例年の運動会とは異なる内容になりますが、ご理解ください。

- 日時 9月30日 雨天の場合は、翌日に延期
低学年(1~3年) 8:30~10:00
高学年(4~6年) 10:20~11:50
- 各学年とも2種目に出場します。全校およびPTA・来入児種目は行いません。

- 保護者の方は各家庭1名のみのお参観をお願いいたします。なお、感染症対策のため参観者のお名前を事前に知らせていただきます。
- 当日はマスクを着用し間隔をあけてください。
- 保護者の方による準備や片付けはありません。

*今後の感染状況によっては、競技内容や参観方法が変わります。ご協力をお願いします。

西小の実践が高く評価されました

8月23日付信濃毎日新聞に本校の実践「多様性を受け入れ、子ども同士がつながる学校作り」が紹介されました。西小の特色である「なかよし学級の交流」や「西小アドベンチャー」を通して、全校のつながりが深まり、思いやりの心が育まれていることを評価していただきました。詳しくは新聞記事をご覧ください。



笑顔で迎える

藤田様から図書の寄贈

～ありがとうございました～

本校保護者の藤田様から、このたび「学習まんが日本の歴史」と「学習まんが世界の歴史」(小学館)を全巻寄贈していただきました。これまでも、「名探偵コナンシリーズ」を寄贈していただいております。いずれも、子ども達に人気があり、多くの子が目を輝かせて読んでいます。「まんが歴史シリーズ」は、歴史に関心をもつには、たいへんオススメの本です。全校で大切に読み続けていきたいと思っております。

◇9月の予定◇

- 1日(火) 5年交通安全教室(自転車)
- 3日(木) 秋の交通安全教室
- 5日(土) 校庭草取り(ボランティア)
- 7日(月) ぶんぶんぶん読み聞かせ
- 8日(火) 2, 3年本は友だち
- 14日(月) ぶんぶんぶん読み聞かせ
3年食育指導
5年稲刈り事前学習
- 15日(火) 集金日
- 16日(水) 5年稲刈り
- 18日(金) 2年生活科町たんけん(弁当)
5年烏帽子岳登山(弁当)
- 24日(木) 1~6年身体みがき指導
- 25日(金) 5年烏帽子登山予備日(弁当)
- 28日(月) ぶんぶんぶん読み聞かせ
- 30日(水) 西小スポーツデー(運動会)
1日(木) 西小スポーツデー予備日